

1) 「地域資源の指摘」の対応案

地域資源	具体的な名称等	配慮の内容	対応案
1)埋蔵文化財	・竹原城跡 ・鶴田城跡		◆複数案（ルート・構造）を検討する際に配慮します。
2)神社・仏閣	・永福寺 ・貴布禰神社		
3)学校・保育園	・堅倉小学校 等	・通学通園時安全	
4)農地	・水田（八坂神社と十三遺跡の北側、三所神社周辺、美野里変電所の北側）	・水田に水を供給するパイプが道路によって分断	
5)公共施設			
6)福祉施設	・特別養護老人ホーム ・サンホーム竹原		
7)墓地			
8)ゴルフ場	・太平洋クラブ美野里コース		
9)竹原地区	・竹原地区	・かつての国道6号整備の時に一度土地を提供している	
10)旧宿場町	・竹原～竹原下郷 ・大曲南～大曲三差路 ・小岩戸	・元は宿場町だったので国道沿いに住宅が集まっている箇所がある	

2) 「別案の提案」の対応案

提案	案のポイント	対応案
追加提案1 バイパスルートは茨城空港のあたりまで東側に寄せる案	・東側の新たなルート帯案	◆追加提案1は、バイパスの延長が大幅に長くなり速達性を高めるという事業目的に合致しないため、検討対象としません。なお、追加案1のルートしなくても、茨城空港へのアクセス性は、バイパスを茨城空港アクセス道路と接続させることで十分改善されると考えます。
追加提案2 バイパスの茨城町側の現道との合流点をなるべく茨城町よりにする案	・B案の変形案	◆追加提案2は、国道6号現道の旧道沿線の市街地や清風台団地、埋蔵文化財を回避することが難しく、それらへの影響が甚大となる可能性があり、当初のバイパス案をあえて変更する積極的な理由が見当たらないため、検討対象としません。
追加提案3 旧小川町側へルートを変える案	・東側の新たなルート帯案	◆追加提案3は、追加案1と同様に、バイパスの延長が大幅に長くなり速達性を高めるという事業目的に合致しないため、検討対象としません。
追加提案4 高圧線に沿ったルートを活用する案	・B案ルート帯の内側	◆追加提案4は、フェーズIIで検討しているルート帯よりも詳細なルートの提案であるため、ルート帯が定まった後の都市計画の段階に申し送ります。
追加提案5 トンネル案	・現道及びBPの新たな構造案	◆追加提案5は、事業費や維持管理費用が大幅に高くなる上、国道6号現道や千代田石岡バイパスへの接続方法が課題となる案のため、検討対象としません。
追加提案6 6車線（片側3車線）とする案	・現道及びBPの新たな構造案	◆追加提案6は、前後区間の車線数（4車線）と整合しないことや、小美玉区間だけ6車線が必要になるほどの交通量が期待されることは考えにくいいため、検討対象とはしません。
追加提案7 バイパス案は、全線平面構造とする案	・B案の構造変更案 ・沿道土地利用への期待 ・都市計画・商業政策との調整	◆追加提案7・8・9は、全線あるいは一部が平面構造となるため、平面構造の箇所での沿道出入りや交差点での遅れが発生し、速達性を高めるという事業目的に合致しないため検討対象としません。なお、まちづくりの地域計画等を踏まえながら、側道等の設置区間などの検討は引き続き実施します。
追加提案8 バイパス案は、部分的に平面構造とする案	・B案の構造変更案	
追加提案9 バイパスは平面構造で、主要交差点は立体構造とする案	・B案の構造変更案	

3) 「評価項目の提案」の対応案 1/3

課題・目的	評価項目	意見要旨	対応案
1.交通渋滞	速達性	1)速度が速く速達性が高いほうがよい	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、速度が速く速達性が高いと捉えています。
	走行性	2)走行性を高めて欲しい、スムーズに走れるほうがよい	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、スムーズに走れると捉えています。
		3)バスなど公共交通の走行性が保てるとよい	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、バスなど公共交通の走行性が保てると捉えています。
	渋滞緩和	4)渋滞が解消されることが大事	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、渋滞が緩和すると捉えています。
	信頼性	5)時間が読めるようにして欲しい	◆評価指標「事故・駐停車車両による影響の低減」で対応します。 →事故・駐停車車両による影響が低減すれば、大幅に遅れ時間が読めない状況が改善されると捉えています。
		6)信号交差点が少なく、一定速度で走れるほうがよい	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、一定速度で走れると捉えています。
	通過交通	7)通過交通は沿道から出入りする交通と混在せずに行われるとよい	◆評価指標「当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通量」で対応します。 →当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通量が減少すれば、通過交通と沿道から出入りする交通が混在しないと捉えています。

3)「評価項目の提案」の対応案 2/3

課題・目的	評価項目	意見要旨	対応案
1.交通渋滞	通過交通	8)通過交通を分離することで、現道が生活道路として使いやすくなるとうい	◆評価指標「当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通量」で対応します。 →当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通量が減少すれば、通過交通が分離されると捉えています。
	アクセス性	9)高速道路へのアクセスの向上に期待する	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、高速道路へのアクセスが向上すると捉えています。
		10) 周辺地域へのアクセス向上に期待する	◆評価指標「平均速度の向上」で対応します。 →平均速度の向上すれば、周辺地域へのアクセスが向上すると捉えています。
2.物流	物流拠点へのアクセス性	1)物流機能の向上が大事	◆評価指標「都心方面および水戸方面から工業団地までのアクセス時間の短縮」で対応します。 →工業団地等の拠点へのアクセス性を高め、物流機能を向上させることは、小美玉道路の目的と捉えています。
3.空港アクセス	空港へのアクセス性	1)空港アクセスが大事	◆評価指標「都心方面および水戸方面から茨城空港までのアクセス時間の短縮」で対応します。 →茨城空港へのアクセス性を向上させることは、小美玉道路の目的と捉えています。
		2)空港アクセスは茨城空港アクセス道路の役割では	
		3)空港アクセス道路との接続は重要である	
4.交通事故	安全性	1)安全性の向上が大事	◆評価指標「当該箇所の国道6号現道や周辺道路の交通事故の減少」で対応します。 →交通集中に起因する事故を削減し、沿道地域の安全性を向上させることは、小美玉道路の目的と捉えています。
		2)道路整備で事故を減少させて欲しい	
		3)大型車を分離して欲しい	
	安全性(歩行者・自転車)	4)自転車や地域の方の安全が重要である	◆評価指標「当該箇所の国道6号現道や周辺道路の歩行者の安全性」を追加します。 →歩行者・自転車も含めた沿道地域の安全性を確保することは、小美玉道路の目的と捉えています。
安全性(沿道住民)	5)沿線地域内へ流入する通過交通を減らし安全にして欲しい		
安全性(高齢者)	6)高齢者の安全に配慮してほしい		
5.防災	緊急輸送の機能	1)防災対応が大事	◆評価指標「緊急輸送道路としての機能」で対応します。 →災害時において緊急車両の走行性の向上、緊急物資輸送を円滑にさせることは、小美玉道路の目的と捉えています。 ◆評価指標「避難路としての機能」を追加します。 →災害時において避難が円滑に行えることは、小美玉道路の目的と捉えています。
		2)地震等の災害時に強い道路にして欲しい	
		3)緊急輸送道路としての機能に期待する	
		4)代替のルートがあるほうがよい(現道とバイパスで選べるという意味)	
6.医療連携	救急医療施設へのアクセス性	1)救急搬送の円滑化が大事	◆評価指標「水戸市や土浦市に位置する第3次救急医療施設への搬送時間短縮」で対応します。 →水戸や土浦の高次医療施設への緊急搬送が更に円滑に行えるように、走行性を向上させることは、小美玉道路の目的と捉えています。
7.生活環境	沿道環境への影響	1)排ガス・騒音・振動の抑制が大事	◆評価指標「排気ガス、騒音・振動などの沿道環境への影響」で対応します。 →交通集中に起因する排気ガス、騒音・振動等の影響を削減し、沿道地域の生活環境の改善を図ることは、小美玉道路の目的と捉えています。
8.自然・歴史・文化	埋蔵文化財への影響	1)埋蔵文化財を回避して欲しい	◆評価指標「自然環境や歴史文化資源への影響」で対応します。 →周辺地域に残る自然環境や点在する歴史文化資源を保全することは、小美玉道路の目的と捉えています。
	自然環境・歴史文化への影響	2)自然環境や歴史文化への影響は避けるべきである	
		3)自然環境と歴史文化資源はそれぞれしっかり扱うべき	
	自然環境・歴史文化への影響	4)国道6号沿道の桜並木に配慮が必要	
地形への影響	5)土地の起伏に配慮が必要である		
9.まちづくり	地域コミュニティへの影響	1)移転者が少なくなるように配慮が必要	◆以下の3指標に変更します。 評価指標「国道6号現道沿道の市街地や地域コミュニティへの影響」 評価指標「バイパス周辺の既存集落や地域コミュニティへの影響」 評価指標「沿道の新規開発や農地転用」 →市街地、既存集落、地域コミュニティへの影響は、国道6号現道沿道とバイパス周辺地域に分けた方がよいと考えました。 また、沿道の新規開発や農地転用の視点を追加しました。 ※小美玉市、石岡市、茨城町等と、道路整備とまちづくり・土地利用の方針の調整が必要である。
		2)沿道地域が道路で分断されないよう配慮が必要	
		3)学校・保育園・福祉施設等への影響に配慮が必要	
	国道6号現道の沿道の地域の活性化	4)現道のまちづくりに期待する	
	国道6号現道の沿道への影響	5)沿道の商業活動に影響しないよう配慮が必要	
		6)沿道アクセスに配慮が必要	
		7)既存の商業集積を活かして利便性が下がらないようにしてほしい	
	バイパス沿道の地域の活性化	8)沿道に新たな施設が立地し活性化することがよい	
		9)企業を誘致する効果が期待される	
		10)バイパス沿道に施設を配置する方がよい	
11)新たな地域コミュニティが形成されるとよい			
まちづくり計画との整合	12)土地の有効利用を期待する		
	13)市町のまちづくり計画と整合が必要		
周辺市町への影響	14)周辺市町への影響を考えてほしい		

3)「評価項目の提案」の対応案 3/3

課題・目的	評価項目	意見要旨	対応案
10. 営農環境	農地や施設への影響	1) 田畑等の農地の分断に配慮が必要	◆評価指標「圃場整備地等やアクセス道路、排水、施設等への影響」で対応します。 →主要産業である農業の営みを守り育むよう営農環境に配慮することは、小美玉道路の目的と捉えています。
		2) 農地設備等への影響に配慮が必要	
		3) 農地へのアクセスに配慮して欲しい	
		4) 酪農への影響に配慮が必要	
11. 効果発現	事業期間	1) 用地確保に時間がかからないようにして欲しい	◆評価指標「効果の発現」で対応します。 →実施する解決策の効率性や経済性に十分配慮しつつ、国道6号の渋滞解消を急ぐことは、小美玉道路の目的と捉えています。
		2) 事業期間を短くして欲しい	
	事業費	3) 事業費を安くして欲しい	◆評価指標「事業費」で対応します。 →国道6号の渋滞解消を急ぐとともに、実施する解決策の効率性や経済性に十分配慮することは、小美玉道路の目的と捉えています。
		4) 工事期間を短くしてほしい	
	工事中の影響	5) 工事中に混雑することがないとよい	◆評価指標「工事中の交通・沿道環境への影響」を追加します。 →工事中の周辺住民への影響にも配慮した小美玉道路整備が望まれていると考えました。
		6) 工事中の安全性に配慮が必要である	
		7) 夜間工事の騒音に配慮が必要	

4)「進め方の意見」の対応案

分類	意見要旨	対応案	
1. 情報提供	1) 情報提供を充実させて欲しい	◆ニュースレターの配布、ポータルサイトを通して、引き続き、現状及び事業の内容を説明します。	
	2) 交通影響を把握しておいて欲しい	◆計画交通量が整理された段階で、ポータルサイトで説明します。	
	3) 騒音・振動を比較して欲しい	◆騒音・振動については、環境影響評価実施時に説明します。	
	4) 費用対効果を示す必要がある	◆費用対効果については、概略計画が決定し、設計が進んだ段階で実施し、結果についてポータルサイトで説明します。	
	5) いつ頃完成するのかを明確にして欲しい	◆完成時期が明確になった段階で、ポータルサイトで説明します。	
	6) 周辺事業の情報も提供して欲しい	◆千代田石岡バイパス等の情報については、常陸河川国道事務所のホームページで公表しています。	
	7) いつ正式名称が決まるのか知りたい	◆国道6号小美玉道路（仮称）の正式名称は決り次第、常陸河川国道事務所のホームページ等でお知らせします。	
	8) 地形や環境への影響を把握しておいてほしい	◆地形や環境への影響については、環境影響評価実施時に説明します。	
	9) 構造のイメージを提示して欲しい	◆概略計画案の構造については、都市計画手続き時に説明します。	
	10) 企業の出店計画、市の企業立地計画を知りたい	◆行政が把握している企業立地計画等については、各自自治体のホームページで紹介されています。	
	11) 計画の意義について説明が必要	◆計画の意義については、ポータルサイトで引き続き説明します。	
2. 意見把握	1) できるだけ多くの意見を聞くとよい	◆利用者、若者、高齢の方や反対する人の意見については、引き続きWebアンケート、ポータルサイトでの意見募集を行うことによって、様々な立場の意見の把握に努めます。	
	2) オープンハウスは、意見を直接伝えられるのでよい		
	3) 若い人の意見をとりいれて欲しい		
	4) Web上のコミュニティを活用した方が気軽に意見が言える		
	5) 今後も住民がもう少し検討に関わりがもてるようにしてほしい		
	6) 茨城空港の利用者の意見を聞くとよい		◆ワークショップのメンバーに茨城空港関係者の方にも入っていただき議論していただいています。茨城空港の利用者に直接意見を聞く機会については、今後検討します。
	7) ワークショップは、オンラインで行うなど他の手法を用いることを検討してはどうか		◆ワークショップは予定していた2回が終了いたしました。今後ワークショップを開催する時の手法として申し送ります。
	8) 意見を伝えるルートとして、「住民から直で国交省」だけではなく「市を通じて国交省」という形があるとよい		◆住民の方から市町に直接意見を伝えることを阻んでいるわけではありませんので、直接意見を伝えていただければと思います。小美玉市、石岡市、茨城町等にいただいた意見は、国土交通省にも共有しています。
3. 意見反映	1) 意見が反映されることを期待する	◆これまでの検討状況や今後の予定、また、意見等の受け止め方について、ポータルサイトやニュースレター（各フェーズ等に発行）で説明します。	
	2) 適切に評価されることを期待する		
4. 決め方	1) ある程度意見を聞くことは必要だが、経験や知識のある者が進めていくとよい	◆地元検討会において、専門家の意見について把握します。	
	2) 多様な観点で比較することはよい	◆皆様から頂いた意見をもとに、多様な観点で比較を行うように引き続き努めます。	
	3) 地元十分に配慮してほしい	◆フェーズを区切りながら継続的に地元意見を把握します。	
5. 資料作成	1) 配布資料を見やすくして欲しい	◆資料作成に際しては、理解の助けとなる情報を追加しつつ、専門用語を避けるなど、一般の方の分かりやすさに努めます。	

5)「フェーズ I 関連」の対応案

分類	意見要旨	対応案
フェーズ I	1) 新たな道路整備よりも、既存の道路を整備する方が、理解を得られやすいと思う	◆小美玉道路の渋滞等課題の詳しい情報、整備の必要性等について、ポータルサイトで説明します。
	2) 将来交通量の増減が気になる	◆計画交通量が整理された段階で、ポータルサイトで説明します。